

豊中市立小・中学校におけるICTを活用した「学び」の基本方針 【概要版】

デジタル技術の活用によるICT教育環境を整備し、
全ての子ども一人ひとりに最もふさわしい創造性を育む新たな学びを実現します。

■ 方針の策定

- ① 豊中市の学校教育がめざすもの
急速な情報化及び多様化の進む現代社会において、子どもたちが情報通信技術（ICT）を積極的に活用して主体的に考え、他者と新たな課題の解決などに取り組むために必要な情報活用能力の育成
- ② 策定の趣旨・位置づけ
1人1台端末の早期実現と、誰一人取り残すことのない教育（個別最適化された学び）をめざす
- ③ 方針の期間
令和2年度（2020年度）～
令和6年度（2024年度）

■ 現状と課題

- ① ICTの環境整備
 - ・大型モニターの全校導入
 - ・無線LANの整備率100%
 - ・統合型校務支援システム小中学校導入
- ② 情報化推進状況と課題
 - ・「授業でコンピュータなどのICTを週に1回以上活用した」児童生徒の割合
豊中市 29.3%（全国30.6%）
 - ・「授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思う」児童生徒の割合
豊中市 82.6%（全国82.4%）

■ ICT基盤整備の2つの 方策

- ・「児童生徒一人一台タブレット」（LTEモデル）の実現
- ・全校における高速・大容量の通信ネットワーク整備

■ 「学び」の6つの基本項目

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ・新しい時代に対応した情報教育
- ・個々に応じたきめ細やかな教育
- ・学校と家庭教育の効果的な連携
- ・災害等の非常時における学びの継続
- ・個々の配慮が必要な児童生徒への支援

■ 教育の情報化実現の方策

- ① 学校教育の充実
 - ・ICTを活用した授業づくり
 - ・子どもの習熟度に応じたきめ細やかな教育
 - ・オンライン授業の実施体制の構築
 - ・授業・家庭学習の連携
 - ・配慮の必要な児童生徒への支援
 - ・情報モラル・情報セキュリティ教育
- ② タブレットの多方面への活用
 - ・事務の効率化
 - ・いじめ相談等の充実
 - ・学校と保護者との連携

■ 新しい時代に対応した情報教育

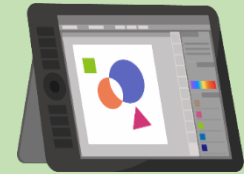
- A知識及び技能
- * 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能
 - * 問題解決・探究における情報活用の方法の理解
 - * 情報モラル・情報セキュリティなどについての理解
- B思考力、判断力、表現力等
- * 問題解決・探究における情報を活用する能力（プログラミング的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む）
- C学びに向かう力・人間性等
- * 問題解決・探究における情報活用の態度
 - * 情報モラル・情報セキュリティなどについての態度

■ ICTの活用例

- ① 一斉指導による学び（一斉学習）
 - ・大型モニターやタブレットに画像や音声、動画などを拡大したり書き込みながら提示することができる。
- ② グループ学習による学びや学んだことの表現（協働学習）
 - ・タブレットに自分の考えや学びを記録し、グループで共有できる。
 - ・タブレットを用いて、調べたり、まとめたりし、授業支援ソフトをつかって発表やプレゼンテーションをすることができる。
- ③ 子どもたち一人ひとりの能力や特性に応じた学び（個別学習および家庭学習）
 - ・一人一人の特性や習熟の程度、誤答傾向などに応じてカスタマイズできる学習者用ドリルソフトを用いて、学習内容の定着を図ることができる。
 - ・発音・朗読、書写、運動、演奏などの活動の様子を記録・再生し、自己評価に基づく練習ができる。

■ 研修の実施

- * 教職員研修
 - ・カリキュラム・マネジメント研修…管理職研修
 - ・授業づくり研修…教職員研修
 - ・基礎活用研修…学校訪問研修、集合研修
eラーニング研修等
 - ・活用研修…教職員研修
 - ・情報モラル、セキュリティ研修…教職員
児童生徒
保護者



* 今後の予定等

- ① 学校教育の充実
 - ・授業づくりや子どもの学習状況の把握など
→整備完了次第、アンケートや国調査で検証予定
 - ・オンライン授業
→今年度から試行実施、休校中の学校の実施
 - ・配慮の必要な児童生徒への支援
→今年度より一部実施、随時試行、研究予定
- ② 多方面への活用
 - ・事務の効率化
→来年度より教材の一部デジタル化を実施、随時検証予定
 - ・いじめ相談等の充実
→今年度から一部実施、来年度以降研究実施
 - ・学校と保護者の連携
→来年度から一部実施、来年度以降継続実施